



5月から6月にかけて体育祭、修学旅行、校外学習、第1回定期テストと大きな学校行事が続きます。生徒も先生も大忙しですが、充実した毎日を過ごしています。学校行事をとおして、生徒が日に日に成長する姿を見られることが、何よりもうれしいです。

6月に入り、天候がやや不安定な日が続いています。ジメジメと湿度も高くなり、梅雨の季節を迎えました。今年の梅雨は雨が多く、その後は猛暑となるとの予報です。安全面に配慮した学校運営を心掛けていきたいと考えています。

また、7月7日(月)～10日(木)には教育相談(三者面談)を実施します。4月からの学校生活を振り返り、新たな目標を立てる機会にしたいと思います。特に3年生は、自分の進路についてじっくりと向き合う夏休みを迎えてほしいと願っています。

3年生修学旅行 大阪・京都方面

3年生が心待ちにしていた修学旅行。日頃の行いが良いせいか、雨予報を覆し、3日間とも過ごしやすい天気恵まれ、かけがえのない時間を仲間とともに楽しむことができました。

<5月30日(金) 大阪万博見学>

世界各国から英知が集結する大阪・関西万博には、世界中から人々が集まり、パビリオンの展示も非常に興味深いものばかりでした。特に大屋根リングの予想以上の迫力に魅了され、「これを見るためだけに、ここに来る価値がある!」と叫ぶ生徒もいました。夜は新世界で名物の串カツを楽しみながら、コテコテの大阪の雰囲気味わうことができました。



一周2kmの大屋根リングからは大阪が一望できました



通天閣の近くで串カツの夕食

<5月31日(土) 京都市内：班別行動>



進路に向けてお守りもゲット



レンタル着物で風情を満喫

修学旅行のメインとなる班別行動です。電車やバスなどの公共交通機関を乗り継いで巡るハードなプラン。金閣寺や八坂神社などの神社仏閣を訪れたり、学問の神様・菅原道真を祀る北野天満宮で神頼みをしたりと楽しみました。インバウンドの影響もあり、チェックポイントの伏見稻荷や清水寺は観光客であふれ、歩くのも一苦労でした。様々なハプニングも班員で協力して乗り越え、楽しい思い出になったようです。

<6月1日(日) 京都市内：クラス別見学(平等院鳳凰堂、銀閣寺、嵐山など)>

最終日も元気にクラス別見学に臨みました。平等院鳳凰堂では、お財布から10円玉を取り出し、見比べている生徒がたくさんいました。嵐山では、渡月橋を散策するなど、京都ならではの風情を楽しみました。帰りの新幹線では、さすがに疲れたのか休む生徒もありましたが、小田原駅に着くまで友達と語り合いながら、修学旅行を満喫したようです。

旅行中、同行した看護師さんや旅行会社の方から「元気でマナーがいいですね」「規律ある行動が取れるしっかりした生徒さんですね」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。修学旅行で学んだこと、経験したことを糧にして、これからの生活に生かしてほしいと考えています。



1年生校外学習 さがみ湖 MORIMORI：デイキャンプ&体験学習

6月3日（火）、中学校に入学して初めての旅行的行事である校外学習に出かけました。

最初にチャレンジしたのは昼食のカレー作りです。炭の火起こしでは、なかなか炭に火がつかず、20分くらい苦戦する班も。飯盒でご飯を炊くのも初めての生徒も多く、おかゆになってしまった班もありましたが、協力しながら何とかカレーを完成することができました。午後は、好きな紐を選んで編んでいく「組紐づくり」にチャレンジしました。細かい作業に苦戦している仲間に丁寧に教えるなど、仲間と協力しながら楽しむ姿が見られました。



初めての体験に四苦八苦



格別な味わいになりました



組紐は記念となるお土産に

2年生校外学習 鎌倉市内：班別自主見学

6月3日（火）、3年生での修学旅行に向けて、班別自主見学の意識を高めることなどを目的に鎌倉へ校外学習に行ってきました。鎌倉は全国屈指の観光地であり、またインバウンドの影響もあって多くの観光客でにぎわっていました。あいにくの雨模様となり、予定していたハイキングを変更したり、雨でシラス漁ができなかったため、楽しみにしていたシラス丼が食べられなかったりと、いくつかのハプニングがありました。班で協力して計画どおりに行動する楽しさを味わうことができました。小町通りでのお買い物も、しっかりと楽しみました。



ちょうど見頃の明月院の紫陽花



荏柄天神のおみくじは大吉？



鎌倉の代名詞と言える大仏

湘光生の活躍

各種大会等での記録です

○第123回西湘中学校女子バレーボール戦 第二部準優勝

○第44回町民卓球大会 ラージボールの部 第三位

湘光中A（ さん、 さん、 さん、 さん）



【校長室の窓から】

6月9日（月）から3週間、4名の教育実習生を迎えています。全員が湘光中学校の卒業生であり、「先生」と声をかけられることに照れながらも、一生懸命に生徒たちと交流を工夫とする熱意が伝わってきます。生徒たちも、年齢が近いこともあって親しみを感じているようで、普段は教員には話さないことも相談しているようです。

「教育実習生たちは、教員という仕事の楽しさや魅力を実感してくれているかなあ」

私も35年前、母校である湘光中学校で教育実習をさせていただき、「絶対に教員になる！」と決意を固めたことを今でも記憶しています（まさか校長で着任するとは思っていませんでしたが...）。全国的に教員不足が深刻な課題となっていますが、湘光中を巣立った卒業生が、いつの日か母校の教壇に立ち、後輩たちと夢を語る... そんな日が来ることを願っています。